



# エコ1チャレンジカップ車検手順

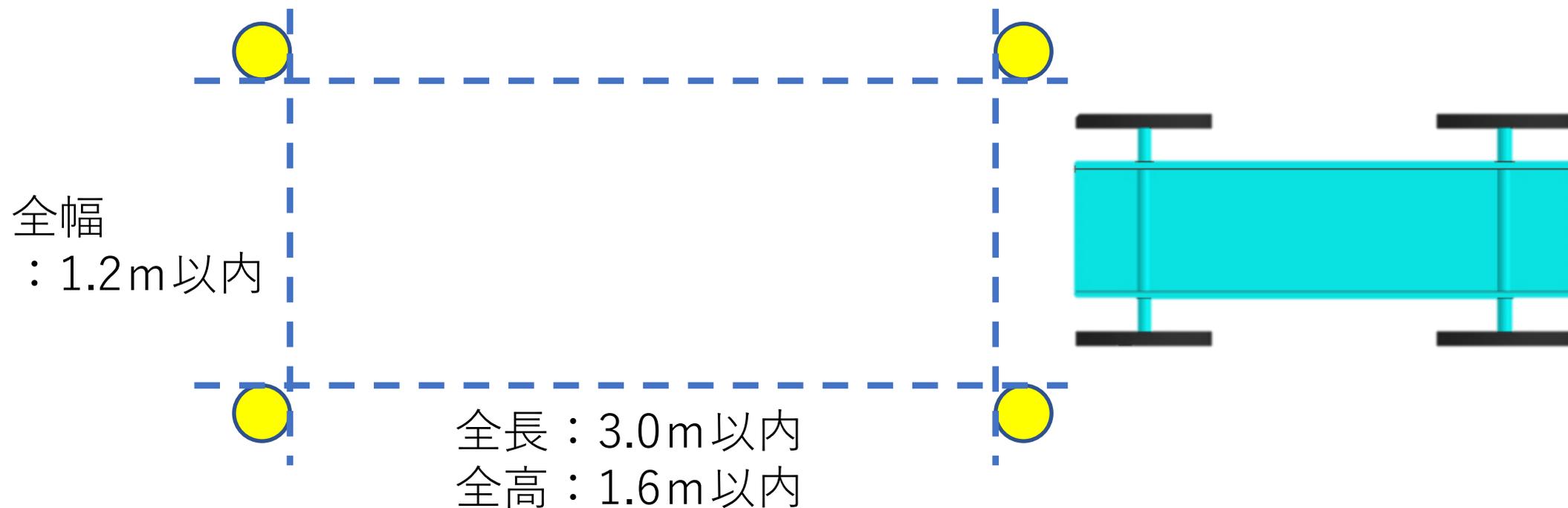
- ①車体サイズ確認
- ②ドライバー確認（登録、服装、ヘルメット確認）
- ③構造確認（常時3輪以上が接地し静止時に自立出来る）
- ④バッテリー搭載確認 & ショート対策（端子保護）
- ⑤配線確認
- ⑥高速回転カバー確認
- ⑦ミラーチェック
- ⑧ブレーキ確認
- ⑨ゼッケンの貼付け



# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ①車体サイズ確認

サイズ確認マーカークー内に収まる事





# エコ1チャレンジカップ車検手順

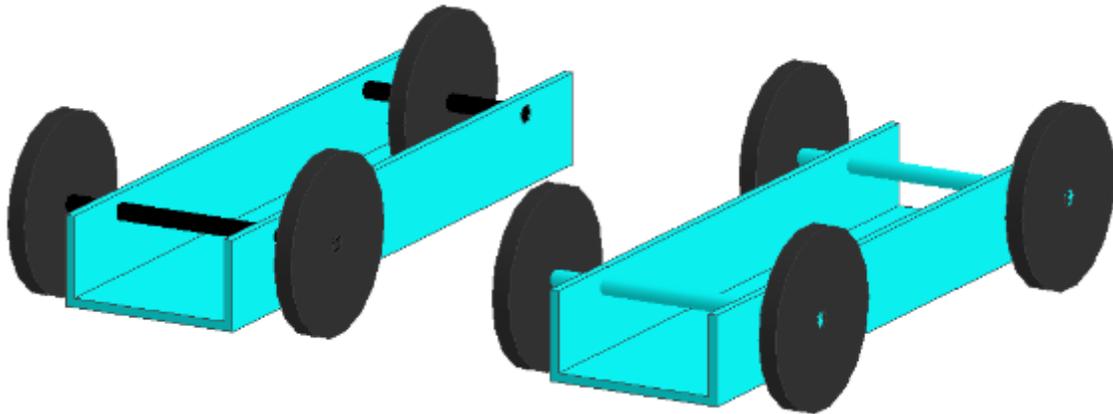
## ②ドライバー確認（登録、服装、ヘルメット）

- ・ドライバーに変更がある場合は車検時に申し出て下さい
- ※全ドライバーは『ドライバーズマニュアル』を熟読しておいて下さい
- ・長そで、長ズボン、グローブ、シューズ確認します
- ・ヘルメット確認（ジェット型またはフルフェイス）
- ※ミラーチェック時のみ装着して下さい
- ※感染症対策の観点から、装備は一人1セットの準備をお願いします



# エコ1チャレンジカップ車検手順

- ③構造確認（常時3輪以上が接地し、静止時に自立可能）  
安全確保の為、3輪以上で自立できる事  
※停止時に自立できないと転倒の恐れがある



○：常時3輪以上接地で自立可能



常時3輪以上接地であっても自立できない場合はNG

×：3輪以上接地無し  
または静止時に自立不可



# エコ1チャレンジカップ車検手順

- ④バッテリー搭載確認 & ショート対策（端子保護）  
バッテリー固定が不十分だと走行中落下など大変危険  
※バッテリーは重量物のため、キチンと固定できていないと走行中に脱落の危険があります

## <推奨バッテリー搭載方法>

- ・バッテリーをふた付きのプラスチックケース等に入れる  
※隙間は緩衝材などで埋めて動かないようにする
- ・更にケースを車体に固定する  
車体にはボルト固定、ケースにはナイロンベルト等での固定を推奨

## <バッテリーサイズ>

113mm × 70mm × 高さ85mm / 個



# エコ1チャレンジカップ車検手順

- ④バッテリー搭載確認 & ショート対策（端子保護）  
バッテリーには+と-の端子部があります



## <端子保護>

バッテリーの端子が露出している状況は  
とても危険です（持ち運び時も）

絶縁テープなどで

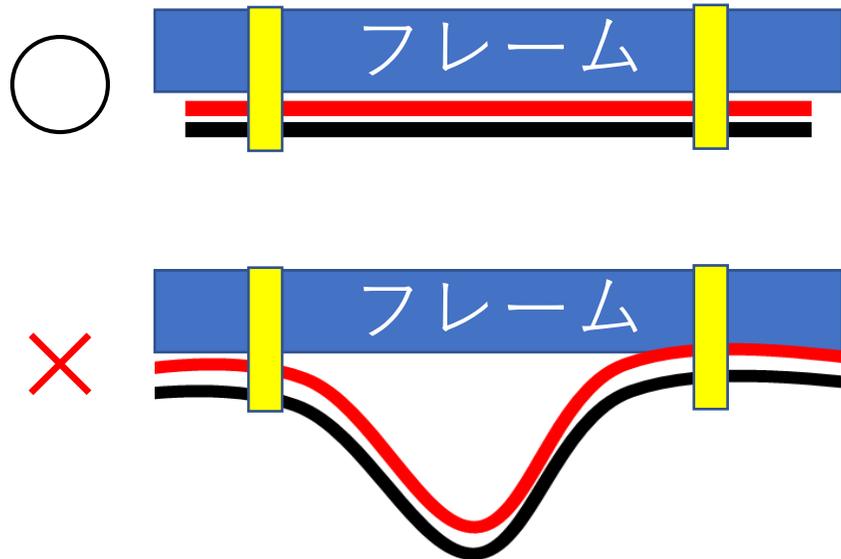
+、-端子部を覆って、ショートしないように  
保護しましょう



# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ⑤配線確認

電気配線が『ブラブラ遊ばない』ように固定して下さい  
引っかけなどによる断線、ショート、感電の恐れ  
があります



絶縁テープ、タイラップなどで  
まとめましょう  
※ドライバー乗り降り時の引っかけ注意！

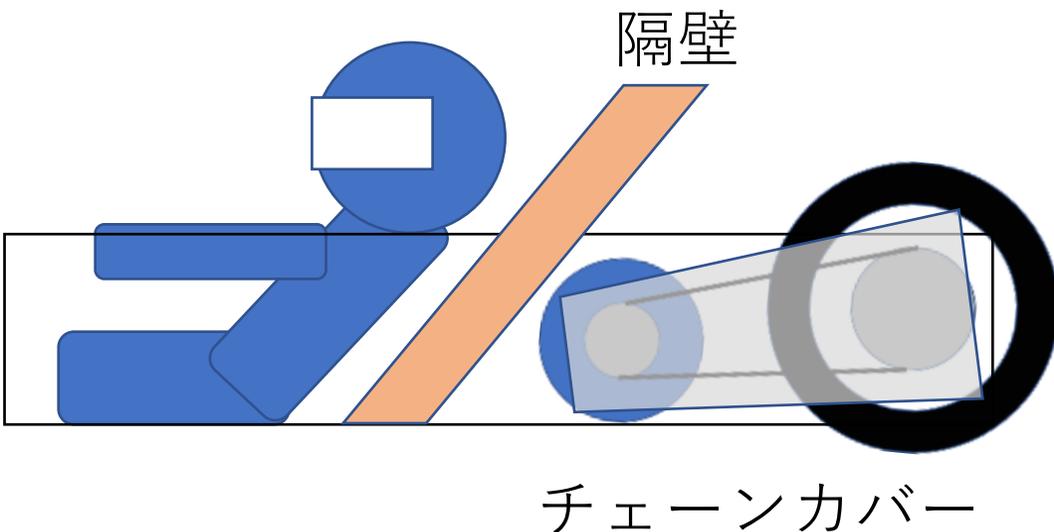


# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ⑥高速回転カバー確認

モーター、チェーン、スプロケット、ギヤなどの  
高速回転体にカバーが無いと

ドライバー乗降時の巻き込まれ、配線巻き込まれ危険



### <アドバイス>

- ・チェーンカバーなど回転部を保護する
- ・ボディカウルや隔壁を設置して  
ドライバーが巻き込まれないようにする

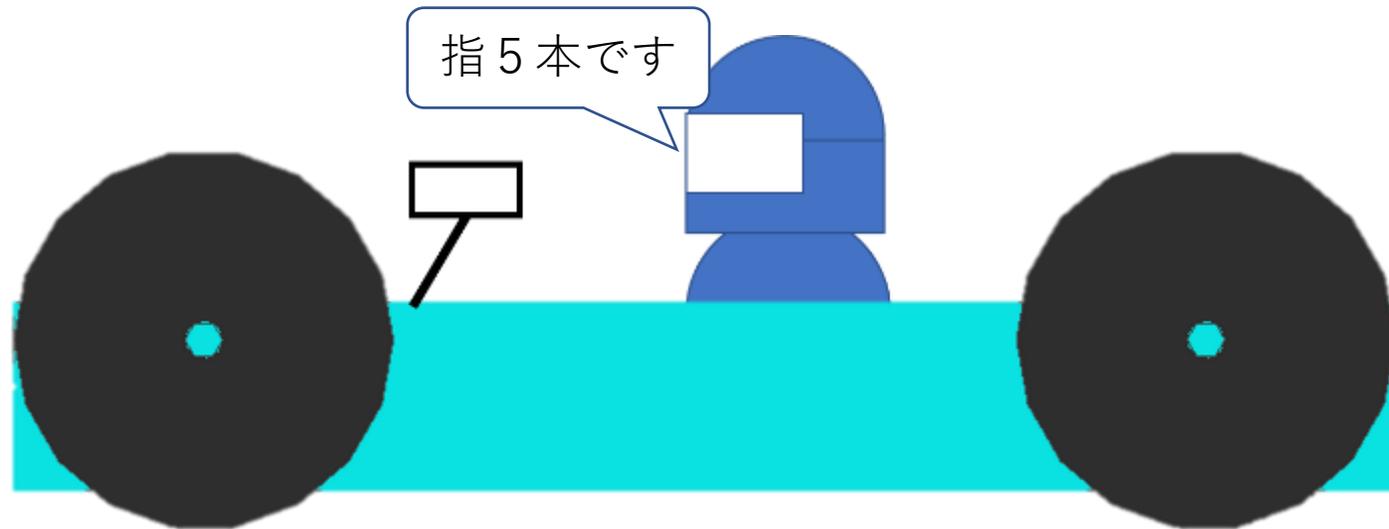
※特に足元と高速回転体が近い場合は要注意  
カバーMUST、ズボン裾注意、配線固定



# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ⑦ ミラーチェック（後方確認）

後方の車両を正しく確認できるかミラーチェックします  
きちんと見えるようにミラー調整しておいて下さい



車検員が後方で指を示します  
指の本数を答えて下さい

走行中は『目視』 & 『ミラーチェック』で周囲をよく確認しましょう

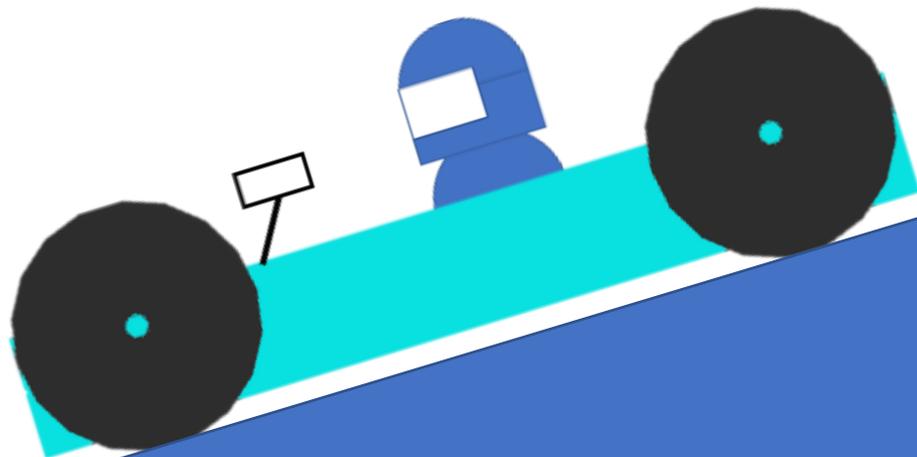


# エコ1チャレンジカップ車検手順

## ⑧ ブレーキ確認

ブレーキにて安全に停止出来る事を確認

スロープ部にてタイヤをまっすぐ向けて実施



### <アドバイス>

自転車用リムブレーキの場合  
リムをしっかりと拭きましょう  
油分が残っていると  
制動力が低下します



# エコ1チャレンジカップ車検手順

- ⑨ゼッケンの貼付け  
左右両側面の確認し易い場所に貼付すること

